

コード	201050201
記入日	H24.6.6

課コード	113
課名	環境課
課長名	網田 勝
担当者	前田 光昭

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	合併処理浄化槽設置補助事業
----------	---------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 24 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	4
施策コード	201	施策名称	しまの自然とともに生きる環境づくり	項コード	1
基本事業コード	20105	基本事業名称	適正なし尿処理の推進	目コード	4
事務事業コード	2010502	事務事業名称	合併処理浄化槽設置事業費	細目コード	309
関連計画	循環型社会形成推進地域計画 新上五島町汚水処理施設整備構想		法令・条例規則等	新上五島町浄化槽設置整備事業費補助金交付要綱	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 合併処理浄化槽利用者	(対象指標1) 1,813人 (計画人口)					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)	
・全体計画設置数 234基設置 【内訳】 →5人槽：60基 →6~7人槽：115基 →8~10人槽：21基 →11~20人槽：17基 →21~30人槽：16基 →31~50人槽：5基	・平成23年度設置数 17基設置 【内訳】 →5人槽：5基 →6~7人槽：10基 →8~10人槽：1基 →21~30人槽：1基	① 浄化槽設置基数	226基	96%	設置済基数÷ 整備計画基数	平成24年度
		② 浄化槽設置基数	17基	68%		平成23年度
		(達成率分析)	新築件数が減少したことで設置基数も予定より減となった。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)					
・合併処理浄化槽の設置を推進し、生活雑排水等による河川や公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 水洗化・生活雑排水処理人口	1,295人	71%	水洗化・生活雑排水処理人口÷計画人口	平成24年度
		水洗化・生活雑排水処理人口	98人	70%		
		(達成率分析)	昨今の経済状況により新築件数が減少し、設置基数が減り、当初の目標に達しなかった。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 基	234	226	209	25	17	8				
	②										
成果指標	① 人	1,813	1,295	1,197	141	98	518				
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	125,153	109,578	101,591	11,023	7,987	12,539				
直接事業費 A	千円	119,553	104,678	97,391	10,323	7,287	11,839				
人件費 B	千円	5,600	4,900	4,200	700	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.8	0.7	0.6	0.1	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	59,775	52,338	48,695	5,161	3,643	5,919			
	県補助金	千円	39,848	34,885	32,462	3,440	2,423	3,946			
	起債	千円									
その他	千円										
一般財源	千円	25,530	22,355	20,434	2,422	1,921	2,674				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	本町の生活排水処理率の低さ・地形的制約等による浄化槽以外の生活排水対策の難しさ等を考慮しても、事業の継続は必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	浄化槽を設置する際の費用負担の軽減に繋がり、新築や改築の際に積極的に浄化槽の設置を検討していただいている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	現行の補助制度は個人設置に対する補助事業であるが、市町村設置型の補助制度に移行することで設置基数の増加が見込める。維持管理についても町管理になることで適切な維持管理が見込める。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	少しずつであるが、生活排水処理率が向上している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	補助金の支給・申請・実績報告・完成検査等に要する最低限の人員での業務量であり、補助金額も補助金交付要綱に基づいた金額であるため、削減はできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	平成22年度に策定した污水处理施設整備構想に基づき、浄化槽の整備促進を図るため、市町村設置型事業について事業の進め方等について先進地視察を行い、本町での導入の仕方について検討を行った。
	今後、課題に向けた改善策	個人設置型・市町村設置型での事業について、実際の整備必要基数を算出し、事業方法を決定し、整備計画を作成する必要がある。

2次評価	住民の生活環境の向上や環境保全を図るものであり、また污水处理施設整備構想に基づき浄化槽の整備促進に努めること。
-------------	---

3次評価	住民等の意見
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					このまま事業を継続	●	●		事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
				このまま事業を継続																														
	●	●		事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。